

開講年度・学期	2017年度・後期	授業形態	演習
科目名	外国語演習（英語）	科目ナンバー	JALNG2201
英語表記	Seminar on Foreign Materials (English)	担当教員	稗田 健志
単位数	2		
科目の主題			
「国家と政治」を考える			
授業の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・「政治」、「国家」、「政治体制」、「政府」といった政治学の基本概念が指す内容を理解する。 ・各文のセンテンス構造と、パラグラフ内の指示代名詞の宛先を的確に把握し、英文全体を正確に理解する。 			
授業内容・授業計画			
<p>比較政治学についてのアメリカの初学者向け教科書である Hislope, Robert, and Anthony Mughan, <i>Introduction to Comparative Politics: The State and Its Challenges</i> (Cambridge University Press 2012) を読む。「国家と政治」について解説した第2章と、執政府や立法府といった「政体のはたらき」を解説した第3章が中心となろう。「政治」(politics)、「国家」(state)、「体制」(regime)、「政府」(government)、「権力分立」(separation of power)といった政治学の中心概念の指す内容を、そうした概念に含まれる論争まで含めて学ぶ。</p> <p>演習の形式としては、一文一文を丁寧に訳出する輪読形式を取る。講師がランダムに参加者を当て、一人一人が事前に準備した日本語訳を発表し、全員で検討する。文献の中身は非常に分かりやすいので、講師の役割は専ら文法事項の解説となろう。そのセンテンスにおいて主語・動詞・目的語はどれにあたるのか？その関係代名詞は何を修飾しているのか？その“it”は指示代名詞か、それとも形式主語か？その“that”は指示代名詞、関係代名詞、接続詞のいずれなのか？こうした事項を明確にすることで、センテンス構造を的確に把握し、パラグラフ全体の意味を正確に理解する。</p>			
事前・事後学習の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習：毎回4ページ程度、予習すること。難しい文章であっても、少なくとも単語の意味は調べておくこと。予習の役割は「自分は何が分からないのか」を把握することにある。 ・事後学習：授業でのクラスメートの報告および講師の解説を踏まえ、復習する。 			
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・出席と報告（予習の形跡が見られない場合はカウントしない）（50%） ・期末試験（演習最終回に試験を実施する）（50%） 			
受講生へのコメント			
履修希望者が20名を超える場合は、初回の授業時に抽選とする。			
教材			
演習で講読する教材は、初回の授業にてコピーを配布する。			
その他			
この演習では、英文を速く・正確に理解する能力のうち、後者の養成を目的とする。精読力なく多読しても、多読力は身につかないからである。			
履修可能最低年次			
2年次生以上			